

くにのみ

【第44号】
昭和36年5月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤 善次郎
編集人 鈴木 美一
印刷所 宇佐美印刷所

町議会の畜産視察記 (一)

曲り角にきたといわれる農業経営の改善について、町当局としては新畜早々より各種講習講演会を開き、普及研究であつたが、町議会においても重大問題として取り上げ、先日の議会上、畜産行政の強化推進を始める議員がこの対策について、種々議論を重ね、赤井畑町長より畜産行政を強力に推進するとの発言あり、目下国会で審議中の農業基本法の成立と相まって、町民の農政の大いに研究を要するものとなつた。このときに当り、議会においては、協議経営と畜産

畜産行政の強化推進

四月十二日夜、藤田駅第一行は大沼議長を始め議員、佐久間助役、能坂経済課長、中村庶務主任、明日からの強行軍にそなえて、極力精力の消耗を抑え、且つ鋭気の蓄積に努める。



明るい交通読本 (四)

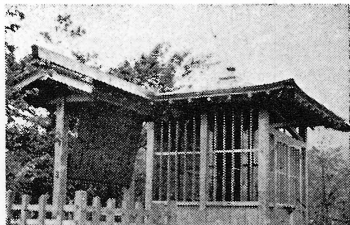
「わかちやいないなあ」といふことばがはびこります。道路通行について、車の運転者は歩行者に対して、また、歩行者は運転者に対して、「わかちやいないなあ」と考えているようです。お互いの立場をわかちやいないなあ、譲りあつてこそ、交通の安全と円滑は保たれ、交通事故は防げると思ひます。

◎農繁期の火災予防にとめましよう ◎春季交通安全運動旬間

国見町部落会長名簿

◎会長 ◎副会長 ●会計 ○印は評議員

部落名	班数	世帯数	部落会長
大町	6	79	藤田 善次郎
大町	10	94	藤田 善次郎
大町	9	85	藤田 善次郎
大町	6	77	藤田 善次郎
大町	7	112	藤田 善次郎
大町	8	94	藤田 善次郎
大町	4	41	藤田 善次郎
大町	2	16	藤田 善次郎
大町	3	22	藤田 善次郎
大町	4	33	藤田 善次郎
大町	4	43	藤田 善次郎
大町	4	67	藤田 善次郎
大町	4	68	藤田 善次郎
大町	84	975	藤田 善次郎
大町	5	54	藤田 善次郎
大町	6	44	藤田 善次郎
大町	4	59	藤田 善次郎
大町	5	24	藤田 善次郎
大町	3	50	藤田 善次郎
大町	7	37	藤田 善次郎
大町	4	8	藤田 善次郎
大町	5	53	藤田 善次郎
大町	9	61	藤田 善次郎
大町	4	9	藤田 善次郎
大町	11	16	藤田 善次郎
大町	6	4	藤田 善次郎
大町	4	5	藤田 善次郎
大町	12	21	藤田 善次郎
大町	11	51	藤田 善次郎
大町	61	462	藤田 善次郎
大町	9	68	藤田 善次郎
大町	6	59	藤田 善次郎
大町	7	67	藤田 善次郎
大町	6	375	藤田 善次郎
大町	4	29	藤田 善次郎
大町	2	17	藤田 善次郎
大町	7	25	藤田 善次郎
大町	4	35	藤田 善次郎
大町	2	195	藤田 善次郎
大町	47	254	藤田 善次郎
大町	254	2,459	藤田 善次郎



みんなのなつとくで 庇蔭樹の伐採
武田 新右門

もいない、鳴きこえもきこえないという、まことに驚くべき現象である。使用人としてトラック運転手三人居り、飼料集荷が主任務である。一頭の飼料代が三〇〇〇円で、仔豚代、手間代一切を差引純益一頭一〇〇〇円であるとのこと(三〇〇〇円では三〇〇万円の動産)出荷はすべて庭先裸渡で、数量が多いのでいつも割よく売れる。仔豚はなぜ自家どりしなにかとの質問に対して、飼育だけで自分の仕事は充分でこれ以上は出来ない。一町歩一億円で飛ぶように売れているので、友人からバツをよめて株でも買ったらどうだとすまされるが、決してやめず、ますます研究をし、改善をしていきたいとの事、白衣を着て片井木氏の姿はまことに調

部活の運営、会館建設、農道の開設も目玉になる、いわば互譲と協力の精神から出発し、実行したこの仕事の結果は、予期以上の好成績で、みんな「先ず良かった」の連発であり、先ず里道は部活課長、又明春は里道の復旧作業をするなど申合せ、祝杯を酌みかわして散会した。(森江野第三部落会長)

大津町長功勞章を受ける
本町消防団最高大津利一氏は、消防団として最高殊勲章ともいわれる「永年勤続殊勲章」を国家消防庁長官から受けた。(写真左胸上部)

鶏痘予防接種について
皆さんのおかけでこの光榮に浴することができました。これが単なる永年勤続だけでなく、無火災、無事故の表彰になるよう努力したいと存じます。おが町の火災はたいもい火元の注意から起つたものであることを考え、町民皆様の一段のご注意をお願いいたします。

佐藤館長郡公連会長になる
伊達管内十日公民館連絡協議会では、本月十日公民館町役場で総会を開き、役員改選の結果、当公民館館長佐藤善次郎氏は会長に選ばれた。尚藤田小学校長古川松太郎先生は理事に選ばれた。

昭和35年度大豆増収競争最高位者の耕種概要

収量	408.5 kg
出品園場	大字山崎字上耕八 島 昌
1、品種	革新1号
2、播種期	6月10日
3、前作	大麦 関取3号
4、畦巾、株間	75.7cm × 30cm (2尺5寸)(1尺) 3.3m2(坪当り) 14.4株
5、播種量	10アール当り 5 罍
6、施肥量	(10アール当)
種類	硫 安 過 石 溶性磷肥 硫酸加里 荒木灰
施用量	1.5 kg (4%) 18.8 kg (5%) 3.0 kg (8%) 11.3 kg (3%) 5.6 kg (15%)
時期	第1回 培土 左 同 左 同 左 同 第2回 培土
7、培土及び除草	培土 第1回 6月25日 第2回 7月20日 除草 8月中旬(手取)
8、病虫害防除	第1回 7月上旬 ホリドール 10アール 2,000倍液 当り50罍 第2回 8月下旬 " " 70罍
9、収穫	10月24日
10、改善の重点事項	(1) 播種は妻の刈取及び発芽後5~7日目頃になるようにすること (2) 播種は早く施し、しかもできすぎない量とすること (3) 肥料は早く施し、しかもできる限り完全防除(薬剤散布)を行うこと (4) 第1回の培土をシロシロにすること(補種を行ない、全体としての収量の増加を図る) (5) 第2回の培土をシロシロにすること (6) 欠株を生じないよう、全体の収量の増加を図る

